

油圧作動油③〔日本工業規格 JIS外〕

省エネ改正法により、工場・事業所ごとにエネルギー消費原単位で年平均1%づつの低減が義務づけられた。

また、平成14年6月より消防法の危険物分類が見直されて引火点250℃以上の潤滑油が、指定可燃物となり危険物の取り扱いから外れることになり各社から新製品がでた。

《高引火点(可燃性液体)型作動油の特徴》

- ①摩擦緩和剤等の配合による省エネルギー。
- ②引火点250℃以上の非危険物扱い。

《最近の動向》

- ①大型油圧装置に使用が増えている。

【省エネルギー・高引火点型・耐摩耗性油圧作動油】

粘度区分 ISO VG	ENEOS	エクソンモービル ジャパン	出光興産 (ダフニ-)	シェルブリカンツ ジャパン	コスモ石油	
22	スーパーハイランド SE-22					
容量	20L 200L					
32	スーパーハイランド SE-32	※2 モービルSHC 524	スーパーハイドロ ST-32	テラス	スーパーエポック ES-32	
可燃性液体類	SE-P32		32 HF-ST	S3 VE 32	UF-32	
容量	20L 200L	20L 200L	20L 200L	20L 200L	20L 200L	
46	スーパーハイランド SE-46	モービルSHC 525	スーパーハイドロ ST-46	テラス	スーパーエポック ES-46	
可燃性液体類	SE-P46		46 HF-ST	S3 VE 46	UF-46	
容量	20L 200L	20L 200L	20L 200L	20L 200L	20L 200L	
56	スーパーハイランド SE-56				スーパーエポック ES-56	
可燃性液体類	SE-P56					
容量	20L 200L				20L 200L	
68	スーパーハイランド SE-68	モービルSHC 526	スーパーハイドロ	テラス	スーパーエポック ES-68	
可燃性液体類	SE-P68		68 HF-ST	S2 TX 68	UF-68	
容量	20L 200L	20L 200L	200L	20L 200L	20L 200L	

可燃性液体類: 引火点250℃以上を有する潤滑油

※1 モービルSHC500シリーズ : 合成油系

2024年5月更新

(C) 2013年4月LoyalYuki Corporation